

ハラハラ通信



NO. 20



東アジア反日武装戦線への死刑重刑攻撃を許さない！ 支援連ニュース読者の会

大阪・ニジの会（堺市新金岡町2-2-1-307 江口市）

「支援連ニュース紙代」「カンパ」は振替で大阪・7・3/03/6 ニジの会までおねがいします。

反日デモ

まずはわー一回目！！これから

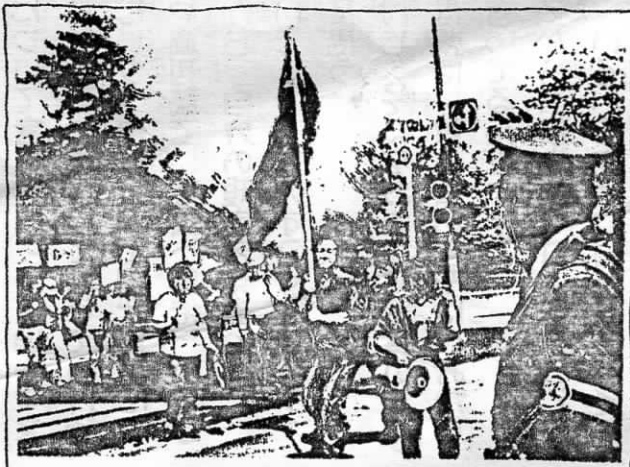
ダヨーン。

はじめて虹の会に出る。ワクワクワクワク、それがデモ参加でした。

私は四月から大阪の女になつて、デモ参加はこれが二度目。前回と同じ扇町公園の同じ集合場所。どんな人達が集まってるんだろう。やっぱり反日思想たもの、ちよっぴり新左翼のイメージを浮かべつつ、あゝ、黒地に七色が鮮やかな虹の旗、カラフルな横断幕、それに、この前の未組織の女達による骨抜き雇用平等法反対のデモで出会った女も何人かいて、私、虹の会が一目で好きになりました。これなら、私も一緒にやってくれる、って。

二十名ほどのデモ者達、フランス二十名以上の警官、私服と一緒に出発、明るく声で「みなさん、知ってますか？ 大森勝久さんを。大道寺君や片岡君を」と呼びかけつつ、黒でかためた、カッコイイ、アナキストや、虹色の布をまとって妖精のような、女達のデモは目をひきました。途中から、ドラや笛などの音楽隊も参加して、増々興がのって、しかも、私服数名がウロウロ、パチパチと芸能記者みたいに接近、接写なので、まるで、反日芸能一座という感じ。

人通りが少なかつたのが、残念。それでも街行く人が関心を示し、小学校高学年位の男の子が親に、「何か悪いことして、

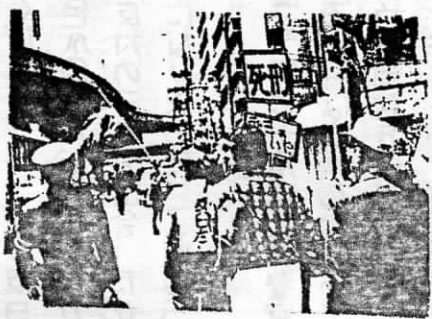


つかまつた人なの？ どうしてつかまつたの？」と面している
 声が聞かされて来たときは、嬉しくなつてしまひました。

反日ニバクワンニ殺人集団という操作されたイメージが
 「ああ、そんなこともあつたネ」「ておれらにいてゐるんだも
 の、少しでも多くの人に知つてほしい。「ほんとか？」「つて
 疑つてほしい。」

まう、このデモを私にとって一番大きな収穫は、
 ハンデマイクをみんなにまわした時、何人かの人
 が天皇制についてキチンと批判してたこと、ある
 いは、「悪いのは反日の人達じゃない、天ちゃん
 やデーノ」「てシュヌレコロしたこと。今、
 多くの人が天皇について天皇制について言えない
 状況をなげていて、そして現実と言えなくなつて
 来てるんだけど、私、言えないつて状況を、だか
 ら私を言えないつて思つてたんじゃないかな、つて
 すごく思つた。友達の間では言えても、デモなどのオーマン
 な場ではダメつて、ソウ、自己規制なのネ。言えない状況な
 ら、みんながそれぞれ言えればいいんぢやね。

私、天皇キライ。あの人は死ぬべきだし、天皇制がある限
 り日本はしてファシズム国家だよ、つてネ。今度のデモでマ
 イクがまわつて来たのは嬉しい。



でも、悪いネ、「天皇について言えない」つていうメン
 「の現状認識」つて、一応そのことだけにしてみせてるけど
 結局、さういふものなんだ、ウンウン」つて現状肯定にな
 ってる。私達つて、TVや週刊誌で、現代（風俗）つてこ
 んなもんだつて認識してから、自分の現実を見まわして、
 それにあてはめてるみたことよ、ものすげえ上手なファ
 シズムだんつて思う。

話がすれただけで、そんなおまかせ定食の現状
 認識に、反日思想は、虹の会のデモは、おかし
 いよ、つて言つてゐるんだよね。

デモが終つてからの反省は、「コースのい
 かけ声のことで、こぼるあつたけど、毎回へり
 返す中で、よくなつていって思う。
 すつと続けようネ。……おんな、こどもが
 いっぱいの、反日デモもなつて、ちょっと警察
 の方は、取り締まりにくいだらうな。

毎月、楽しみです。



6月4日

(月) 7時 ~ 300円

料理 哲也 さんで

アウトノミヤ運動・自由ラビオ
 イタリヤの芸術書キ・戦術・敵中生存必勝
 内屋占初キキ
 ①Orchestra
 ②Dance
 エニカウニターズスター
 ③カラオケ
 ④ドロー

定例会での「コマ

その1「爆弾はイヤ」

道庁爆破をやつてこない大森さんの生死をもてあそばす「国家権力」というものに憤り、彼を「死刑」にさせてはならないと懸命に動いている人たちを羨望しうと思つ、感動をおぼえる。

フランスの事件を聞いた時、とても悲しかった。一人が「軽(負傷)をした」と知った時、その「軽(負傷)」という言葉に「まあ、軽(負傷)を感じた。そして、「オー、アルバーロ」の号外を読んだ時、ニジの会にはもう行けないなあ、と思つた。だけど、それでは何もはじまらない。私は、ニジの会へ行った。

今回の爆破で、多くの人と同様に私も口にした「一人のケガでよかった」は、あくまで結果論にすぎない。もしその人が死んでいたらという結果だったなら、私はこう言わなければならなかったのか。「死んだのが一人だけでよかった」と。爆破という方法が、どれ程の「配慮」がされたところで、絶対に犠牲者は出ない、と断言できないものであるからには、道庁爆破をやつていないその人の死は、そ

の人の知らないところで「多少の犠牲はやむなし」と下された「死刑宣告」と言えないだろうか。私は、そんな「宣告」は、権力以外の何ものでもないとと思う。少なくとも、今の私は、そして、思はずにはいられない。その人はひょっとして大道寺さんの言葉を借りるなら、「いつの日にか結びつへんき人」だったかもしれない。私が、ついでの間まで、大森さんや東アジアの人達を考へることもなく、反・反日の人たちにドゥフリとつかつていたように、それ程変わらな言えないけれど。大森さんや東アジアの人たちを「おどろしい過激派」と信じてうたがめない人たちの間に入って、彼らの支援を求めるのはとてもまづかしいけれど、ニジの会で「爆弾はイヤ」と言つのも同じようにまづかしい。私には、大決心が要つた。余りに興奮して「だから、言いたくても正確に伝えられたとは思えない。みんなの意見を理解する」こともできなかつたに違いない。でも又、次の機会があるだろう。この私が生きておくれれば。

と、ついでに書いて、最後の「生きておくれれば」を、本当に軽く書いたなあ、と気が付いた。東アジアの人たちや、大森さんが読めば、どんな風にも思つただろうか。やはり、私は私の「支援運動」を、私自身の反・反日性の、単なる「免罪符」にしてしまつてゐるのだろうか。(一)

7の2ー 驟のなご終りに終りのレポート
▼ はじめのころも序びました。ジョマッ、キキウの仲間がこ
るちはな、トウれしな、こまこました。終りにしつ。
▼ にも、なな、キキウの仲間が、はじまりの終
りが、なな、キキウの仲間。今、はなご、こまこました。
のなご、キキウ。

そのころのオモシキ、夏のバクダシ「事件」ま
ゆ、この「驟のなご」終りが、なな、こまこました。
なな、はなご、キキウの仲間。今、はなご、こまこました。
のなご、キキウ。

▼ 要するに二人の仲間の内縁関係を、はなご、なな、こまこました。

② 海外向け英文プログラムが、なな、こまこました。
暴力直接行動も、なな、こまこました。
なな、こまこました。

① バクダシ——これは、なな、こまこました。
なな、こまこました。
なな、こまこました。

▼ はじめのころ、なな、こまこました。
ナナマッタのです。これは、なな、こまこました。
こまこました。
なな、こまこました。
なな、こまこました。

こまこました。なな、こまこました。

社会とか、カッロイイこと、なな、こまこました。
こまこました。
なな、こまこました。

生活は、なな、こまこました。
なな、こまこました。
なな、こまこました。

ナントカ、なな、こまこました。
なな、こまこました。
なな、こまこました。

ジュメイ、なな、こまこました。
なな、こまこました。
なな、こまこました。

その矛盾、なな、こまこました。
なな、こまこました。
なな、こまこました。

歴史社会では、カッロイイこと、なな、こまこました。
なな、こまこました。
なな、こまこました。

「朝」のなな、こまこました。
なな、こまこました。
なな、こまこました。

「われわれは、なな、こまこました。」
IRA + ナンバー + ナンバー + ナンバー

「Ｔさんが、虹の会の人たちはこんどのフランススノー爆破を喜こんでいるんじゃないか。虹の会は非暴力直接行動かと思ってたのに……ついていけない。というてたやろう」



「うん。こっちが出した英文ビラが爆破を引きおこしたとするなら、あのビラに私らの運動のやり方へ非暴力直接行動があらわれてなかったというこ

とで、その責任はあるっていったね」

「そういう云い方になってくると、何も出来なくなるんじゃないかな。バクダン投げてもらおうと思っても投げてもらえるもんちゃうし、やるのはその人の責任でやるんやもん」



「今の私はＴさんの考えとはだいぶちがってるけど、東アールの人らが三菱を爆破した時はＴさんとまるきり同じ気持ちを持った。爆破を喜こんでるまわりの人向に対してとても腹がたった。でもそのあと、Ｔさんなんに出会ったり考えたりすることで変わってきたから、Ｔさんともいっしょに考えていきたい」

「こんどのフランススノー爆破は、はっきりとプロパガン

ダとしての目的をもって人が傷つかないように最大の配慮がされてるのがわかるよね」

「でもＴさんは、配慮されてるのかなとかではなく、絶対バクダンはアカンゆうてるんや」

「私は絶対にバクダンは使わないし、私の方法ではないけど、私の想いでは想像もつかないような状況の中で、体をはってバクダン投げる人に、そのバクダンのみを取りあげて、いいとか悪いとかいうべきじゃないと思う」

「でも、三菱の爆破に対して、東アールの人らがはじめ声明文出したやろ。革命のためには犠牲もやむをえないとか、三菱で働いている人は殺されても当然とか、ああいうふうには正当性を主張されることひっかかるんよね」

「Ｔさんがこだわってるところもそういうところやと思うな」

「三菱の爆破にしてもこんどの事件にしても、これは現実起こってしまっていることやんか。ということは、こういう事態がおこりうる状況の中に私らはくらしているということやないの。だからその状況ゆきにバクダンはいいとかわるいとかいう云い方はできない。私らが向題にせなあかんのは、なんでそういうことが起きるかや。この状況と自分は無関係ではありえんのやから」

「もし、あのフランスでの爆弾事件が大森くんや東アールの人

たいへんだ

たちの裁判にとってマイナスの方向で影きょうするとして
も、これをプラスのキッカケに出来るように、自分の直接
行動(たとえゴラマキとかいう小さいことでも)を、つけ加え
ていきたいな」

「Tさん、虹の会で、バクダンはいやだ、っていうの
とてもむずかしいって云うてるやろ。そういう中で、ちや
んとあれだけの意見をみんなの前でいえる、てのは、私は
感心した。」

「私もなんか、ハツとするもんがあったナ」

「虹の会でTさんの存在はとても大事やと思う。Tさん
が虹の会に居ずらいとしたら、それは虹の会のあり方がよ

「片岡さん、いつも封筒送り返して下さって、あ
りがとう。切手を集めています。こちらから送っ
た郵便物の切手、切りぬいて送って下されば大喜
びです。」

「細かい会計報告は載せませんが、このニュース
発送したら、残金は、二万円足らず。新しく読者
になった方、購読料がきれている方には、振替用
紙同封します。よろしくお願いします。」

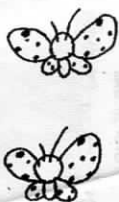
「これからは、ピラ作りもはじまります。東京か

くないヨ」

「私はリクツなしやけど、とにかくバクダンはこわいし、
けど東アノの入りを支持したいっていう気持ち」

「とにかく権力がこまるようなことやったら、どんなこと
でも応援したいっていうのが私の気持ちやねん」

「Tさんは、私にとって、だいいいな仲間やし、フランスのバ
クダン投げた未知の人も仲間やと思うし、そのことを、まず
は、きりさけたうえで、これからも、まっくばらん、大い
に議論をしながら、いっしょにやっしていきたい」



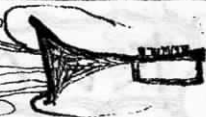
らのピラ配りもね。購読料以外に、ピラカンパも募ります。
「お金のことはかりになったけど、ピラマキ、デモ、例会へ
の参加は、それ以上に大喜び。待っています。」

6月12日

(火)

大森くんは自由を!

6月12日は札幌高裁で大森くんのカニ審才二回公判
がひらかれます。一日も早い大森くんの無実釈放のため
大阪から全国の仲間、連帯して集束会をもめます。
・場所 太融寺 6時半〜9時
・講師に池野重男さんをお呼びします。「反日論」



☆ 明けの星を見上げて ☆ 書評

今までも獄中斗争といふものの意味がわからなくて、あれは踏まれてもけられ
ても、権力への増しみを捨てないホニマさんの戦士がやるものごちゃごちゃか。斗い
のための斗いというか、何度保身房に入れられても反抗を繰り返す、生きている
限り反逆するといふ姿勢なのかな？ などとあんまりピンと来なかつた。ところが
で、この本では、斗いの成果が語られていて、「あ、そうか。」と思った。「監獄
当局と斗い、自分の生活スタイルというものを確立するならば、本質した時間を待つ
ことができません。」「人生到る所に青山あり、です。獄中も例外ではありません。』
と語る大道寺とは、長い斗いの末に、かくこつきの様な自由を獲得する。

「気のむくままに好きな時に好きな運動をする自由」「卓検拒否の自由」「起床
時間を無視して、明けの星と共に自覚め、有價な食品を拒絶し、季節感や、スズ
メやネコの世間と交流するエゴロシカルな感覚を奪還する自由」「獄舎の壁を登
りて、夕の友人と精神の交流をする自由」。「獄中がサ入れに対して徹底的に抗議
して、メチャクチャに扱つかすことをなくさせる自由」。エトセトラ、エトセトラ。

大平の世で、漫然と自由を消費してはいる僕などよりも、獄中に囚われしている大道
寺さんの方が余程、意志的に自分自身の生活を創造していると思う。

例えば僕らが自然を返せと叫ぶとしたり、そんなことより、とり早く、目の前
のアスファルトを引っぺがせばいい。そういうラジカルな斗いを大道寺さんはやって
いる。もちろん、一日中つけっぱなしの螢光灯をぶっこわし続ける。などという
盲目的なやり方ではなく、「運動をやれば、その下でも眠れるさ。」という計画
のもとに、彼は彼の生活スタイルを確立する。東アジヤ反日武装戦線イコール爆
弾、破壊、というイメージがあるけれど、この本を読めば、斗いというのは結局は
自分の納得いく生活を創造することだと理解させられる。

そして、「爆弾作りは楽しかった」といふ言葉を聞くと、彼らは、日雇いの充
実と権力との対峙をどこまでも重ね重ねせよとしたのだからバカだったのだから、
禁欲的で、破壊志向型のテロリストとは違ふことがわかるだろう。(望)

☆「明けの星を見上げて」の感想を思わぬ人からもらって、感激してします。

編集後記

▼「戦争をなくす私たちの会」のニュースの
印刷ができなくなったので、代わりに虹の会のお
手伝いしています。(か)

▼子猫が生まれて、皆がネコを可愛いがるの
で、うちの子供がすねています。(え)

▼東アジヤ反日武装戦線のじらを作ろうと考
えつづけてもう三ヶ月目になってしまったけど、
気軽な何回も作りなおしながらという気分
で思っています。(い)

▼今、一番時間をとっているのは、子猫の救
援だ。大兵衛の弟、八太郎……(かよ)

▼次号だれか編集長
をやったの。とい
う人いませんか。(ふ)



☆ 6月の虹の会は2日(土)です。
場所はつゆくさ小屋で七時から
3日は「生きる為にも反トマホーク」
許すな6月、極東配備、民衆らば」
が12時58時半まで部落解放センターに参加します

ぜひ友だちにすすめて下さい。